

東温支部

1 教職員研修（夏季実技研修会）について

平成 23 年 8 月 1 日、東温市立川上小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会合同夏季実技研修会を行った。

(1) 各校のおすすめサイトの紹介

参加者の先生方に事前に授業で使えるサイトを見付けておいてもらい、そのサイトを電子黒板を使って紹介し合った。

「計算モンスターズ」「折り紙クラブ」「Flash 学習教材集」「ねこのしっぽ」「JAXA キッズ」「Web 子ども美術館」「きっず goo 社会科見学」等の紹介を行い、授業での活用方法や、学習効果を高める方法について学ぶことができた。

また、Flash の教材を使うことで、低学年や特別支援学級の児童生徒の指導にも有効であることが分かった。

今後、各校において、電子黒板の有効性を生かして、楽しい・分かる授業の展開を進めていく必要性を積極的に働きかけていこうという意見が出された。



(2) フリーソフトの紹介

電子黒板を使ってフリーソフトの紹介を行った。

「県名クイズ DoKoDa」は、都道府県名を覚えたり、各都道府県の花や特産物をクイズ形式で学習したりできるフリーソフトである。

「lagmirror」は、Web カメラで表示したり、遅延再生をしたりすることができる。Web カメラは、電子黒板の専用カメラに比べて低価格で手に入りやすく、工夫次第で効果的に使うことができる。

「sound engine free」は、音声ファイルを編集するフリーソフトである。音楽発表を録音して編集したり、加工したりすることができる。音楽の一部を繰り返して再生したり、一部を削除して再生したりして調整し、授業や集会等で活用する方法の実技研修を行った。

(3) 情報セキュリティ

ネット対策のリンク集を紹介した。「ネット社会の歩き方」や「インターネット体験ドリル」などの情報モラル教育支援コンテンツを体験し、研修を行った。

(4) 「愛媛の情報教育」について

昨年度、「愛媛の情報教育」に掲載された教育実践の紹介を行った。「技術・家庭科における情報機器の活用」「教育の情報化を目指す学習指導の研究と実践」「電子黒板を活用した学習指導の研究と実践」等、すばらしい研究の成果を各校に持ち帰り、情報教育の推進に生かした。

2 今後の課題

- 適切なコンテンツを使うことで、電子黒板を使って効果的に指導をすることができる。そのために、各校で研究を重ね、毎日電子黒板を使って指導の充実が図られるようにしなければならない。
- フリーソフトの活用によって、今まで不可能と思われていたことができるようになってきている。今後も、研究を進めていく必要がある。
- 携帯電話等の普及により、新しい危険が児童生徒に迫ってきている現状を的確に把握し、これからの情報化社会を生き抜いていくスキルを身に付けさせるための指導について、さらに研修を充実させていかねばならない。